

みんぱく

公開講演会

アジア・交錯する 信仰と民族

2025年

10/31 (金)

18:30~20:40

日経ホール

東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル3F

参加費無料／事前申込み制

定員 600名(先着順)

※手話通訳あり



グローバル化が急速に進展する現代社会では、ヒト・モノ・カネ・情報の越境が活発化する中、地域を越えた社会的、経済的な相互依存が高まり、多様な出自を持った人びとが出会い、交流するようになった。

しかしその一方で、外国人や移民などに対する排外主義が高まるなど、世界各地で軋轢や分断も深刻化してきた。こうした軋轢や分断を引き起こす要因として、民族や宗教の違いが挙げられることがある。ただし、宗教的な実践はエスニック・アイデンティティと結びついて排他的に働くこともある。

本講演会では、中国におけるイスラームと台湾における民間信仰という性質の異なる宗教に焦点を当て、東アジアにおいて宗教と民族がどのように地域横断的に関係してきたのか、そこで民族や宗教の異なる多様な人びとがいかに共にあることができるのかを考えてみたい。

プログラム

- 17:30 ● 開場
- 18:30 ● 開会挨拶 武類 祥子 日本経済新聞社 大阪本社 編集局長
- 挨拶 關 雄二 国立民族学博物館長
- 18:40 ● ◎趣旨説明・講演1
民族と宗教のあわいを生きる
中国におけるムスリム・回族にみる共在のありかた
奈良 雅史 国立民族学博物館・学術資源研究開発センター・准教授
- 19:15 ● ◎講演2
霊達とポスト・コロニアリズム
現代台湾で神になった日本人、亡霊になった日本人、そしてそれを取り巻く人々
藤野 陽平 慶應義塾大学・文学部・教授
- 19:50 ● 休憩
- 20:00 ● ◎コメント
島村 一平 国立民族学博物館・人類文明誌研究部・教授
- ◎パネルディスカッション
藤野 陽平×島村 一平×奈良 雅史
- 20:40 ● 終了

講演1／司会



奈良 雅史

なら まさし

国立民族学博物館
学術資源研究開発センター
准教授

専門は文化人類学。中国、台湾における中国ムスリムを対象に、宗教、エスニシティ、モビリティを主なテーマとした研究を行っている。著書に『現代中国の〈イスラーム運動〉—生きにくさを生きる回族の民族誌』（2016年、風響社）、共編著に『モノとメディアの人類学』（2021年、ナカニシヤ出版）など。

講演要旨

中国には回族と呼ばれるムスリムが暮らしている。彼らは7世紀以降に中国にやってきた外来ムスリムの末裔とされる。回族と他民族との関係から、民族と宗教の関係を考えたい。

講演2



藤野 陽平

ふじの ようへい

慶應義塾大学
文学部
教授

専門は文化人類学。近年は台湾の民間信仰における国家の追悼からこぼれた霊の扱いについて関心を寄せ、台湾の日本神を題材としてドキュメンタリー映画『軍服を着たカミサマ』（遠藤協氏との共作）も作成している。日本神を扱った近著に「台湾の日本神を訪ねる日本人と台湾社会—観光化がもたらす信仰実践の変容」東・福井・奈良編『脱観光化の人類学—かわりゆく観光と社会のゆくえ』（2025年、ミネルヴァ書房）などがある。

講演要旨

ポストコロニアルな状況下、日本統治期の台湾で死んだ日本人の霊たちが、神になったり亡霊になったりする現象を、戦後台湾社会の文脈に位置付けて考察する。

コメンテーター



島村 一平

しまむら いっぺい

国立民族学博物館
人類文明誌研究部
教授

専門は文化人類学・モンゴル研究。主な研究テーマはシャーマニズムとヒップホップ。著書に『増殖するシャーマン』（2011年、春風社）、『ヒップホップ・モンゴリア』（2021年、青土社）『憑依と抵抗』（2022年、晶文社）、編著に『辺境のラッパーたち』（2024年、青土社）など。2023年モンゴル国北極星勳章叙勲、2024年フランス高等研究実習院(EPHE)招聘教授。

関連プロジェクト

◎特別研究
「民族と宗教
——もつれ合う排他性と包摂性」

申込み方法

国立民族学博物館



クリック

国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面にしたがって必要事項をご入力ください。

https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec_event/62796

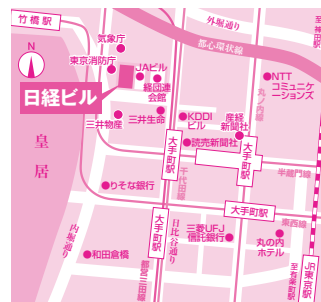
2025年9月19日(金)受付開始予定

※参加申込みされた方の個人情報は本講演会および次回以降の講演会案内でのみ使用いたします。



講演会場

- 東京メトロ
・千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩約2分
・丸ノ内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩約5分
・半蔵門線「大手町駅」皇居方面改札より徒歩約5分
・東西線「大手町駅」西改札より徒歩約9分「竹橋駅」4番出口より徒歩約2分
- 都営地下鉄
・三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩約6分



お問い合わせ先

国立民族学博物館 研究協力課 TEL 06-6878-8209

主催



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

日本経済新聞社



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷後の紙へリサイクルできます。